

表形式化について



小学校以上の各教科等の検討状況

【小学校以上の各教科等の表形式化のイメージ】

(第2回総則・評価特別部会で示された表形式化のイメージ)

目標

●●する資質・能力(資質・能力の趣旨)について、●●することなどを通して(学習過程)、次のとおり育成することを目指す。

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力・人間性等
--------	--------------	--------------

(見方・考え方)

●●(当該教科で扱う事象や対象)を●●(当該教科固有の物事を捉える視点)の視点から捉え(に着目して捉え)、●●(当該教科固有の考え方や判断の仕方)すること。

内容

(並列パターン)

知識及び技能に関する 統合的な理解 XXXXXXXXXXXXXXXX	思考力、判断力、表現力等の 総合的な発揮 XXXXXXXXXXXXXXXX
知識及び技能 ・XXXXXXXX ・XXXXXXXX	思考力、判断力、表現力等 ・XXXXXXXX ・XXXXXXXX

(並行パターン)

思考力、判断力、表現力等の総合的な発揮 XXXXXXXXXXXXXXXX	1)	・XXXXXXXX	・XXXXXXXX
	2)	・XXXXXXXX	・XXXXXXXX
	3)	・XXXXXXXX	・XXXXXXXX
知識及び技能に関する 統合的な理解 XXXXXXXXXXXXXXXX	・XXXXXXXX ・XXXXXXXX		

① 目標の柱書

各教科等の資質・能力の趣旨や学習過程について、目標にどのように示すか、検討。

② 資質・能力の柱ごとの目標

各教科等の「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力・人間性等」について、目標にどのように示すか、検討。

③ 見方・考え方

各教科等の「見方・考え方」について、各教科等を学ぶ本質的意義を踏まえてどのように示すか、検討。

④ 内容の表形式化の具体的な形式

内容の表形式化について、各教科等に適した表形式をどのように考えるか、検討。

⑤ 高次の資質・能力

「知・技」「思・判・表」の深まり(「知識及び技能の統合的な理解」)の可視化と、「知・技」「思・判・表」の一体的育成(「思考力・判断力・表現力等の総合的な発揮」)の可視化を図り(これらを「高次の資質・能力」と総称)、「知・技」「思・判・表」の深まりの可視化を通じて「深い学び」を実現する単元づくりのイメージを教師が持てるよう、各教科等における「高次の資質・能力」をどのように示すか、検討。



表形式化の方向性（案）

- ◆ 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領（以下、「3要領・指針」という。）においては、小・中・高等学校の教育との連続性・一貫性を表すため、育みたい資質・能力を乳幼児の姿から捉えた「ねらい」と、「ねらい」を達成するための事項である「内容」について、現在検討中の小学校学習指導要領等における示し方を踏まえた表形式で示すこととしてはどうか。

検討事項① 「ねらい」の示し方

- 現行3要領・指針に記載されている3つの視点及び5つの領域において育もうとしている資質・能力の趣旨を基に、「ねらい」の柱書を記載してはどうか。
- 幼児教育※においては、「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」を個別に取り出して指導するのではなく、遊びを通した総合的な指導の中で一体的に育むものであることから、小学校以上のように資質・能力の3つの柱で分けて示すのではなく、一体的に示してはどうか。

※幼児教育：0歳～小学校就学前までの幼児教育施設における教育

検討事項② 「見方・考え方」について

- 「見方・考え方」については、企画特別部会論点整理において、各教科等を学ぶ本質的な意義の中核に焦点化してより端的に示していく方向で検討されているところ。
- このため、現行要領において「幼児期の教育における見方・考え方」とされている記述「幼児が身近な環境に主体的に関わり、環境との関わり方や意味に気付き、これらを取り込もうとして、試行錯誤したり、考えたりするようになる」については、「見方・考え方」としての位置付けを変更し、乳児も対象としつつ、幼児教育が重視すべき遊びの過程として、引き続き重視してはどうか。

検討事項③ 「内容」の示し方

- 幼児教育においては、「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」を個別に取り出して指導するのではなく、遊びを通した総合的な指導の中で一体的に育むものであることから、小学校以上のように資質・能力の3つの柱で分けて示すのではなく、一体的に示してはどうか。

（現行の領域「健康」によるイメージ例）

ねらい

健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す資質・能力（資質・能力の趣旨）について、園生活全体の中で乳幼児の自発的な活動としての遊びを通して（過程）、次のとおり育成することを目指す。

知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力・人間性等
-----------	-----------------	--------------

- (1) 明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。
- (2) 自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。
- (3) 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しをもって行動する。

内容

知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力・人間性等
-----------	-----------------	--------------

- (1) 先生や友達と触れ合い、安定感をもって行動する。
- (2) いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。
- (3) 進んで戸外で遊ぶ。
- …

内容の取扱い

- (1) …

※小学校以上において示す「高次の資質・能力」（「知識及び技能の統合的な理解」及び「思考力・判断力・表現力等の総合的な発揮」の総称）については、「学びに向かう力、人間性等」も含めて一体的な育成を行う幼児教育においては、示さないこととする。